

戦後六〇年

# 無言館 遺された絵画展



「箱みものをする婦人」 呉格 武／昭和20年8月8日、ルソン島・ホルト山において戦死。享年28歳。

あと五分、あと十分この絵を描かせてくれ……

小生は生きて帰らねばなりません。絵をかくために……。

お姉さん……生きて還つたらばくをバリに行かせてくれますか……。

田部 安典／昭和二〇年四月五日、ルソン島バギにおいて戦死。享年十七歳。

中川 勝吉／昭和五年七月八日、サイパン島において戦死。享年六歳。

## 2005年12月23日[金・祝]—2月5日[日]

開館時間／午後9時—午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日／月曜日(12月29日(木)～1月1日(日))は休館、1月2日(月)、3日(火)は開館

観覧料／大人一般700円 高・大生500円 中学生以下無料

〔前売は各200円引〕〔団体20名以上は、各100円引〕

〔前売券販売所は、中国新聞販売所、および、JR西日本(岡山・広島エリア)の主な駅のみどりの窓口で〕

70歳以上のかたと、お身体に障害をお持ちのかた、また、その介護が必要なかたの介護者1名は、

無料です。証明できるものをご提示ください。

主催／尾道市立美術館、戦没画学生慰霊美術館「無言館」、

NHKちゅうごくソフトプラン、中国新聞備後本社

後援／広島県教育委員会、NHK広島放送局

協力／日本写真印刷株式会社

企画協力／NHKきんきメディアプラン

ONOMICHI CITY MUSEUM OF ART 尾道市立美術館

〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内 Tel.0848-23-2281

山陽本線「尾道駅」から東行きバスで「長江口」下車し、ロープウェイで「千光寺公園」へ。

## 会場までのお出かけはJRが便利です。

### 「尾道市立美術館」前売入場券好評発売中!!

チケットのお求めは、JR西日本(岡山・広島エリア)の主なみどりの窓口へどうぞ。

大人：500円、高・大生：300円、中学生以下：無料



JR西日本



蜂谷 清 | 祖母の像



金子孝信 | 姉の像



宮宮俊一 | 風景

戦後六〇年

# 無言館 遺された絵画展

【時間】あと五分、あと十分この絵を描かせてくれ……

小生は生きて帰らねばなりません。絵をかいたために……

【姉妹】お姉さん：生きて還つたらばくをバリに行かせてくれますか……

【妻】あれは霜子が天に召されたことを知らせる満月だったのですね……

【夢】軍隊から帰つたらアトリエを建ててやる……と父は約束していた。

【生きる】出征しても自分は必ず還つてくるから……

【祈り】戦場にあつても一人の画家として人間の姿を描いてゆきたい。



山之井龍朗 | 少女



片桐 彰 | 街



小野春男 | 屏風絵 茄子



無言館 | 外観

窪島誠一郎氏が、その分館として全国三〇〇〇余名にもおよび協力者の芳志により開館したものです。

また、無言館がオープンしてからその活動に賛同する新たな戦没画学生の遺族による作品の寄託希望が相次ぎその数は資料なども併せ六〇〇点を超えるまでになりました。絵を預けながら展示スペースの関係で未だ展示されていない遺作も数多くあります。

本展はそれら収蔵作品の中から未陳の作品を中心に、他館の戦没画学生の収蔵作品も併せ、五十八名の約一三〇点の日本画・油彩画・彫刻などの遺作と遺品資料を展示します。

平成十七（二〇〇五）年は終戦から六〇年となります。戦争中、数多くの若い生命が戦地に駆り出され、戦場のツユと消えました。そうした中には、画家になることを一心に夢み、生きて帰って絵を描きたいと叫びながら死んでいった一群の画学生たちがいました。戦没画学生慰霊美術館「無言館」は、そうした画学生たちが遺した作品と、生前の彼らの青春の息吹を伝える遺品の数々を末永く保存・展示し、今を生きる私たちの精神の糧にしてゆきたいという画家・野見山曉治氏（昭和十八年東京美術学校卒・東京芸大名誉教授）の積年の希いをもとに、平成九年「信濃デッサン館」の館主・

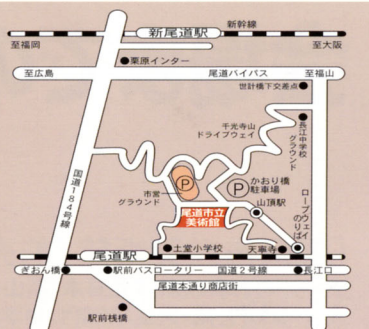
- 近隣美術館情報
- ◆ふくやま美術館  
野田正明展  
1月13日(金)～3月12日(日)
  - ◆(財)ひろしま美術館  
ブラット美術の至宝  
～フィレンツェに挑戦した都市の物語～  
1月3日(金)～2月19日(日)
  - ◆広島県立美術館  
偉大なる「エルミタージュ美術館」展  
ランドル絵画とヨーロッパ工芸の精華  
1月27日(金)～4月2日(日)

- ご利用案内
- JR西日本・山陽新幹線をご利用の場合、「福山駅」で下車、山陽本線にお乗り換えになり、「尾道駅」へ。「新尾道駅」は「こたま」のみが停車し、山陽本線には乗り継ぎできませんので、タクシーで「千光寺公園」内尾道市立美術館へ。
  - JR西日本・山陽本線「尾道駅」から、「1番のりば(東行き)」のバスで「長江口」下車、(140円)、ロープウェイで「千光寺公園」へ (片道280円、往復440円)。
  - お車で越しの場合、「千光寺ドライブウェイ」経由で「千光寺公園」入口の「かおり橋駐車場」(1日500円)へ。  
(「かおり橋駐車場」の駐車券を、美術館受付でご提示いただければ、当日券をお求めの方1名様にかぎり観覧料を200円割引いたします。)
  - 「尾道駅」、および「新尾道駅」から、タクシーで1200円程度です。



尾道市立美術館  
〒722-0032 尾道市西土堂町17-19千光寺公園内  
Tel.0848-23-2281 Fax.0848-20-1682

- ◆平山郁夫美術館  
平山郁夫 遺跡を歩く  
開催中～2月28日(日)
- ◆圓錐記念館  
所蔵展Ⅲ  
開催中～3月26日(日)
- ◆次回展覧会予告  
第2回尾道大学卒業制作展 2006年2月10日(金)～2月18日(土)  
第2回写真のまち尾道四季展 2006年2月25日(金)～3月12日(日)



- 特別展開催記念講演会  
講師：窪島誠一郎(無言館・信濃デッサン館館主)  
演題：「無言館」のこと一生と死の画家たち ―  
日時：平成17年12月23日(金・祝) 午後2時から  
場所：尾道市立美術館2階ロビー  
参加申込不要・当日の入館者を対象
- ギャラリーコンサート  
出演：村上彩子(声楽)、正木路子(ピアノ)  
日時：平成18年1月3日(火) 午後2時から  
平成18年1月9日(月・祝) 午後6時から  
場所：尾道市立美術館2階ロビー  
参加申込不要・当日の入館者を対象
- ギャラリートーク(会期中第2・4日曜日)  
解説：当館学芸員  
日時：平成17年12月25日(日)、平成18年1月8日(日)、  
22日(日)、各日午後2時から  
場所：尾道市立美術館 展示室  
参加申込不要・当日の入館者を対象